

## 平成 28 年度 総会および研修会を開催

### はじめに

道北技術士委員会では、定例の総会および研修会を開催し、総勢 46 名の方が参加されました。

研修会では公益社団法人 日本技術士会理事(北海道本部副本部長) 森 隆広 氏、北海道開発局 旭川開発建設部長 伊藤 丹 氏並びに旭川大学経済学部教授 江口 尚文 氏を講師にお迎えしました。以下にその概要を紹介します。

日時：平成 28 年 5 月 14 日(土) 13:30~19:00

場所：旭川トーヨーホテル

### 1. 総会

高桑代表幹事の挨拶の後、同代表幹事による議長の進行により以下の項目についての報告が行われました。

第 1 号報告：平成 27 年度事業報告および決算報告

第 2 号報告：平成 28 年度事業計画案および予算案

平成 28 年度事業計画では、4 月に発生した熊本震災が九州に甚大な被害をもたらしたことに對し、健全で安定した水・食料などの物資を供給することがこれからの北海道の役割であることを説明しました。また、人的支援を通じた震災復興支援が求められており、道北技術士委員会としても技術士どうしの連携を進めながら、公共の安全、環境の保全、そ



高桑史郎代表幹事の挨拶

の他公益の確保を踏まえた活動の推進が確認されました。

### 2. 研修会

演題 1：技術士を巡る最近の動向

講師：日本技術士会理事(北海道本部副本部長)

森 隆広 氏

概要：以下の 5 点について解説を頂きました。

- (1) 平成 27 年度 技術士一次試験結果
- (2) 平成 27 年度 技術士二次試験結果
- (3) 日本技術士会北海道本部の会員数
- (4) 総括本部(理事会等)からの話題
- (5) 日本技術士会北海道本部の主な動向



日本技術士会理事 森隆広氏の講演

演題 2：新たな北海道総合開発計画と

旭川開発建設部の取り組みについて

講師：北海道開発局 旭川建設部長 伊藤 丹 氏

概要：

河川がご専門の伊藤部長から第 8 期目となる北海道総合開発計画を踏まえた旭川開発建設部の事業概要と取り組み状況についてお話をいただきました。

- ・第 8 期北海道総合開発計画では、北海道の食糧自給率が 200%であることや、全国よりも人口減少が進んでいることなどを踏まえ、「食」や「観光」を

戦略的産業として「世界の北海道」を目指していく。一つの例として、道外からの定住を増やすために、農業に参入しやすい環境を整える。

- ・平成28年度予算概要では、「人が輝く地域社会の形成」「世界に目を向けた産業の振興」「強靱で持続可能な国土の形成」の3項目を重点事項とする。旭川開発建設部の事業では、サンルダム建設、北海道縦貫自動車道(土別剣淵～名寄)、国営かんがい排水(当麻永山用水地区)などの事業を促進する。
- ・水防災意識社会再構築ビジョンでは、関東や東北地方の豪雨災害を踏まえ、住民自らがリスクを察知し主体的に避難できる「住民目線のソフト対策」を構築する。
- ・i-Constructionでは、労働者数の減少を補うことや建設現場の生産性向上を目的として、ドローンやICT建機の活用を押し進めていく。



旭川開発建設部長 伊藤丹氏の講演

### 演題3：道北地域経済の現状と改題

—地方における大学と企業のあり方を考える—

講師：旭川大学経済学部教授 江口 尚文 氏

概要：

旭川ラーメンのガイドブック「旭ラー」でおなじみの江口教授から旭川経済の現状、そして地域企業の戦略や教育方針についてお話をいただきました。

- ・他の自治体の例に漏れず旭川市も少子高齢化により多くの業種で事業所数が減少しているが、市民一人あたりの購買力は道内主要都市と比較しても悪い値ではない(旭川市も頑張っている)。
- ・大学として、いかなる教育をすべきかを地域企業と情報交換する必要がある(ポイントは、地域の大学生を地域に就職させる。地域企業がUター

ン、Iターン人材を採用できる力を付ける)。

- ・江口研究室では、勉強した知識を机上で終わらせず実践に重点を置いており、学生自ら地元ラーメン店や商店街へ取材している(「旭ラー」「永山商店街マップ」「食べマルシェ」の参加など)。
- ・イノベーションは新結合である(TV+ショッピング=テレビショッピング、辞書+PC=電子辞書など)。地域企業でも新結合を実践すべきである(新・商品、新・生産方法、新・原材料、新・組織など)。



旭川大学経済学部教授 江口尚文氏の講演

### 演題4：第42回技術士全国大会(富山)のレポート

講師：株式会社 フジ土木設計 代表取締役

道北技術士委員会 代表幹事 高桑 史郎

概要：

高桑代表幹事から昨年10月に富山市で開催された第42回技術士全国大会について説明を行いました。当地は高桑幹事の出身地でもあり、記念講演やテクニカルツアー参加の話題はもとより富山産の美味しい地酒や食べ物のお話、また地元の方以外は知らない深い情報など、興味をそそる内容でした。

### 3. 意見交換会

意見交換会では、研修会講師や特別参加された留萌開発建設部長の片倉氏を含む39名が参加し、活発な情報交換が行われました。今回は、若手合格者の方が数多く参加されたことから、年齢層も若返った雰囲気を感じられました。

本誌の紙面をお借りし、本総会および研修会にご協力いただいた講師の方々、および参加者の方々へのお礼を申し上げます。

最後に、会員皆さま方の益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げ、ご報告といたします。